

# 羽越だより

《第400号》

令和5年10月2日

1 2023年10月2日(月曜日)

羽越だより

第400号



羽越・調査課長の講義に真剣に耳を傾ける

羽越河川国道事務所は6月22日、村上市立平林小学校で荒川を知ろうをテーマに出前講座を行った。荒川近隣の小学校を対象に毎年行っている恒例行事で、講義の内容は荒川の地形や環境、生き物のほか、水害の歴史や水害を防止するための堤防・ダムを整備など。事前に配布された資料やスライドを見ながら30分程度の講義となった。

## 平林小学校で出前講座 4年生に「荒川を知ろう」

# 羽越だより

2023年(令和5年)  
10月2日月曜日

事前に配布された資料(全56ページ)



調査課長への質問に立つ児童

講義後は児童から寄せられた多くの疑問に調査課長が全て答えた。「川の味の味は？」の問いに「味はしない。水はきれいだが飲むことは出来ない」と回答。「なぜ水は海へ流れていくのか？」の問いには「雨が空から地面に降るように水は高いところから低いところへ向かう。よって高い山などに降った雨は低い海へ流れる」と説明した。



タモを使い、石の裏に隠れている虫を捕獲しようと協力する児童たち

出前講座から約3ヶ月、爽やかな秋晴れのなか、荒川橋付近で水生生物調査と簡易水質テストを行った。河川環境保全モニターの富樫繁春先生にもお越しいただき、児童、教員、羽越職員とともに荒川へ入水。タモやバケツを使い時間をかけて水生生物をくまなく探した。大きなモクズガニや体の透けたヌカエビ、ウグイの稚魚などのきれいな水を好む生物が多く捕獲され、

## 荒川河川敷で水生生物を調査

### 河川環境保全モニター「荒川はきれい」

9月25日  
実施

さらに、川の深さや速さの問いに「深さは常に変動していて、1番深い時で6.1m(平成28年)。速さは荒川橋地点の毎秒で、水深の浅い平瀬が

約1.1m、早瀬が約2.1m、水深の深い淵が約0.2mで、洪水時には5〜7mにもなるため決して近づいてはいけない」との注意喚起もあった。



富樫先生に捕獲した生物を詳しく分類してもらい、きれいな水を好む虫が確認された

富樫先生にそれぞれの名前・特徴・美味しい食べ方を解説していただき、簡易水質テストでも荒川の生物の生き生きとした様子を確認した。(担当：調査課)

水のきれいさチェック 化学的酸素消費量(COD) mg/L

0	5	10	20	50	100
きれいな水					きたない水

水の性質チェック (pH)

5.0	5.5	6.0	6.5	7.0	7.5	8.0	8.5	9.0	9.5
酸性				中性				アルカリ性	

### 発行およびお問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局  
羽越河川国道事務所

〒959-3196 新潟県村上市藤沢27-1

TEL: 0254-62-3211(代表)

URL ⇒ <https://www.hrr.mlit.go.jp/uetsu/>

FAX: 0254-62-1106(代表)

X(旧Twitter) ⇒ @milt\_uetsu

ホームページ

X(旧Twitter)

